

輝け！シン尾花沢中

第194号

令和8年

3月2日

つたえゆかしい 校章よ おおむつましく 丘かげに

「ありがとう」が何よりの喜び～尾花沢雪まつりボランティア①～

2月21日（土）と22日（日）に、徳良湖畔特設会場で行われた第50回尾花沢雪まつりに、25名ほどの尾中生がボランティアとして参加しました。

当日は晴天に恵まれ、多くの来場者、特に小さな子供たちの歓声が響き渡っていました。

ボランティアとして参加した尾中生の感想を紹介します。

伊藤 颯^{はやて}さん（1年）：ボランティアを通して、地域の人と交流できたり、福原中学校の生徒と協力してボランティアを行うことができました。地域に貢献できてうれしかったです。

田中 陽和^{ひより}さん（1年）：ボランティアが終わったとき「人のために役立てた」と思いました。長時間外にいたので足が痛くなりましたが、お客様の質問に答えたときに「ありがとう」と言ってもらえてうれしかったです。今後は、少しでもいいので自分から話しかけ、質問されたことはしっかり答えていきたいです。

三浦 奈結^{なゆ}さん（1年）：ボランティアをして小さい子供たちに分かりやすく伝えるのがたいへんでした。でもぶつかったり怪我をしたりせずに、楽しく遊べていたのでよかったです。次にボランティアをする機会があったら、小さい子供たちに上手に説明してあげたいです。

樋渡 結衣^{ゆい}さん（1年）：いつも遊ぶ側だった尾花沢雪まつりを初めてボランティアとして参加してみ、楽しんで遊べる裏では様々な人々が頑張ってくれているんだ、ということを知りました。雪まつりにはぎわっていて大変だったけれども、子供たちや様々な人とかかわることができてとても楽しくすごく勉強になりました。今回学んだ人とのかかわり方を今後の生活に生かしていきたいです。

渡辺 優音^{ゆのん}さん（1年）：友達とのボランティアは大変だったけれど、楽しかった。

須田かりんさん（1年）：雪まつりを楽しんでいるお客様の顔を見ることができてよかったです。質問されたときは、楽しんで遊んでもらえるように、笑顔で接することを心がけました。

黒田 煌大^{こうだい}さん（1年）：スイカ割の目隠しを参加者につける仕事をしました。すごくやりがいを感じたし、「尾花沢の魅力を知ってもらおう」という面で少しですが力になれたと感じました。今後は積極的にボランティアに参加し「人の役に立つ」たいけんを大人になるまで確実に積み上げていきたいです。

櫻井 穂高^{ほたか}さん（1年）：ボランティアが終了後、雪まつりに来た人の楽しそうな笑顔を見てとてもうれしい気持ちになりました。今後はもっとボランティアに参加して人々を笑顔にしていきたいです。

次号も、尾花沢雪まつりにボランティアで参加した尾中生の感想を紹介します。

【文責：校長 工藤雅史】

